

準要保護児童生徒認定申請書

令和 年 月 日

多治見市教育委員会 様

申請者（保護者）

住所 多治見市 町 丁目 番地

(アパート名) 号室

氏名 (※)

電話

(※)本人が自署しないときは、押印してください。
申請者及び世帯構成員は、下記の誓約・同意事項に誓約・同意の上、就学援助を申請します。

学校名		年 組		児童生徒名	
世帯 構成	人員	氏名（本人も含む）	続柄	生年月日	職業・学校名
	1				
	2				
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				
世帯 状況	該当するものどれか1つに○をつけてください。				住宅 の形 態
	1 生活保護が停止又は廃止になりました。 2 地方税法第295条の第1項に基づく市町村民税の非課税となっています。 3 生活困窮の理由により、市町村民税の減免を受けています。 4 国民年金保険料の免除を受けています。 5 生活困窮の理由により、国民健康保険料の減免又は徴収の猶予を受けています。 6 児童扶養手当の支給を受けています。 7 生活福祉資金の貸付を受けています。 8 生活保護に準じる程度に収入が少ない状態です（直近6ヶ月の世帯収入額の月平均が生活保護基準の1.5倍以内）。				
1 持ち家 2 借家 （家賃 円/月） 3 その他 （ ）					
援助を希望される理由を詳しく書いてください。					

※添付書類

- 世帯状況で3、4、5又は7に該当する方は、それを証明するものを添付してください。
- 世帯状況で8に該当する方は、別紙収入申告書及び収入を証明する書類を提出してください。遺族年金、障害者年金等非課税所得も含みます。

- 【誓約・同意事項】
- 準要保護の認定要件及び他の市区町村からの就学援助の有無を確認するため、税情報等の公簿等を確認すること及び他の市区町村その他の行政機関等に資料の提供を求めることに同意します。
 - 1により必要な確認が行えない場合、求めに応じ関係書類を提出します。
 - 新入学児童生徒学用品費の支給を受け、入学前に他の市区町村へ転出した場合は、支給を受けたことを当該他の市区町村に通知することに同意します。
 - 家庭の状況が好転するなど準要保護児童生徒の認定基準に該当しないこととなったときは（以下「基準非該当」という。）、速やかに届出をします。
 - 4の場合は、既に給付を受けた援助費のうち、基準非該当の期間相当分を返還します。
 - 偽りその他の不正な手段により支給を受けた場合、又は教育委員会が返還を要すると認める場合は、既に支給を受けた援助費を返還します。

※以下の欄は保護者の方は記入しないでください。

学校長及び担任意見	
上記の通り準要保護児童生徒と認めていただきたい。	氏 名 印 学校長 印
民生委員の所見	
	氏 名 印

準要保護児童生徒認定申請書

令和〇年〇月〇日

記入日

多治見市教育委員会 様

申請者（保護者）
住所 多治見市 音羽 町 1 丁目71番地の1
(アパート名) エキタアパート 202 号室
氏名 多治見 太郎 (※)
電話 22-1111

本人自署の
場合は印鑑
必要なし。

(※)本人が自署しないときは、押印してください。
申請者及び世帯構成員は、下記の誓約・同意事項に誓約・同意の上、就学援助を申請します。

対象となる児
童生徒の名
前。

学校名	〇〇学校	〇年 〇組	児童生徒名	多治見 花子
人員	氏名（本人も含む）	続柄	生年月日	職業・学校名
世帯 構 成	1 多治見 太郎	父	S42. 3. 5	会社員
	2 多治見 月子	母	S45. 10. 6	パート
	3 多治見 次郎	兄	H23. 5. 5	〇〇中学校2年生
	4 多治見 花子	本人	H24. 7. 24	〇〇中学校1年生
	5 多治見 吾郎	祖父	S24. 11. 2	アルバイト
	6 多治見 星子	祖母	S27. 3. 6	無職
7				

下記の誓約・
同意の上、生
計を共にする
全ての人を記
入。

該当するもの
のどれか1
つに○を記
入。8は1か
ら7のいづ
れも該当し
ないときの
み。

該当するものどれか1つに○をつけてください。

- 生活保護が停止又は廃止になりました。
- 地方税法第295条の第1項に基づく市町村民税の非課税となっています。
- 生活困窮の理由により、市町村民税の減免を受けています。
- 国民年金保険料の免除を受けています。
- 生活困窮の理由により、国民健康保険料の減免又は徴収の猶予を受けています。
- 児童扶養手当の支給を受けています。
- 生活福祉資金の貸付を受けています。
- 生活保護に準じる程度に収入が少ない状態です（直近6ヶ月の世帯収入額の月平均が生活保護基準の1.5倍以内）。

住
宅
の
形
態

- 持ち家
- 借家
(家賃 4.6万 円/月)
- その他
()

持ち家、借家、
その他を選択
し、番号に○を
記入。
借家の場合は、
家賃を記入。

援助を希望される理由を詳しく書いてください

(例) 前の会社を3月に退職し、今の会社に10月に就職したばかりです。いまだ、父母の年金、父と妻の収入を合わせても生活が安定しない状況です。そのため子どもの就学に必要な援助を希望します。

現在の家庭
の生活状況
を踏まえ、具
体的に記入。

※添付書類

- 世帯状況で3、4、5又は7に該当する方は、それを証明するものを添付してください。
- 世帯状況で8に該当する方は、別紙収入申告書及び収入を証明する書類を提出してください。遺族年金、障害者年金等非課税所得も含まれます。

【誓約・同意事項】

世帯構
成全
員
が
誓
約
・
同
意
す
る
こ
と。

準要保護の認定要件及び他の市区町村からの就学援助の有無を確認するため、税情報等の公簿等を確認すること及び他の市区町村その他の行政機関等に資料の提供を求めることに同意します。

- 1により必要な確認が行えない場合、求めに応じ関係書類を提出します。
新入学児童生徒学用品費の支給を受け、入学前に他の市区町村へ転出した場合は、支給を受けたことを当該他の市区町村に通知することに同意します。
家庭の状況が好転するなど準要保護児童生徒の認定基準に該当しないこととなったときは（以下「基準非該当」という。）、速やかに届出をします。
- 5 4の場合は、既に給付を受けた援助費のうち、基準非該当の期間相当分を返還します。
- 6 偽りその他の不正な手段により支給を受けた場合、又は教育委員会が返還を要すると認める場合は、既に支給を受けた援助費を返還します。

※以下の欄は保護者の方は記入しないでください。

学校長及び担任意見	
氏 名	印
上記の通り準要保護児童生徒と認めていただきたい。	学校長
民生委員の所見	氏 名
	印